

令和5年度蒲郡市男女共同参画プラン推進委員会 議事概要

開催日時	令和5年8月24日（木） 午前10時から11時50分まで
開催場所	蒲郡市役所 北棟集会室
出席者	男女共同参画プラン推進委員会 【委員】 （敬称略） 委員長：浅井 なお枝（蒲郡にじの会 会長） 副委員長：小林 直美（愛知工科大学 工学部 准教授） 竹村 菜緒（愛知県男女共同参画社会支援セミナー修了生） 鳥山 眞浩（蒲郡社会福祉協議会 事務局長） 格清 彩香（株式会社ニデック 人事部人事課） 稲垣 達也（株式会社オニックス 代表取締役社長） 近藤 陽子（蒲郡市教育委員会学校教育課 課長補佐） 大場 富士弥（蒲郡市総代連合会 副会長） 堀井 惇平（蒲郡青年会議所 副理事長） 松井 英樹（蒲郡市協働まちづくり課 課長） 【事務局】 城田 愛弓（蒲郡市協働まちづくり課 課長補佐） 稲熊 廉（蒲郡市協働まちづくり課 主事）
内容	1 あいさつ 2 議題 令和5年度数値目標及び進捗状況について 3 その他
会議資料	・議事次第 ・委員名簿 ・第3次蒲郡市男女共同参画プラン令和5年度数値目標調査表 ・第3次蒲郡市男女共同参画プラン令和5年度進捗状況調査表 ・男女共同参画に関連するイベントチラシ
会議内容	1 あいさつ ○資料の確認 ○出席者あいさつ ○委員長あいさつ ・第1期プラン作成から関わっている。LGBTやDVの対応も進んできた。女性の地位向上だけのためだけでなく、誰もが多様性を受け入れて生きられる社会を目指したプランであるため、広く人権と捉えてご意見をいただきたい。 2 議題 令和5年度数値目標及び進捗状況について （事務局から概要説明） （以下、各委員からの意見） ・施策6について、混合名簿の作成が小学校のみで中学校で進んでいないのはなぜか。大学や名古屋市では当たり前混合名簿を使っており、使いにくいことはないはず。理由を確認しプッシュすべき。 ・保育園に途中入園を希望したが4月からしか入れないと言われ

たと聞いた。数値に現れないところで困っている人が男女共同参画の分野では多い。→委員が出席している子育て支援の会議で要望してほしい。

- ・社内保育所について、年度途中の育休満了時に保育園に入れない場合は、育休を延長して翌年度から復職する社員も社内の託児所を利用する社員もいる。託児所の定員は26名だが、平均して10名に満たないくらいの利用状況。

- ・社内の平均年齢が50歳に近く、子育て世代が少ない。

- ・共同で利用できる保育所が出てきているので、市内企業の保育所を他の事業所が利用できると良い。(→「企業主導型保育施設」)

- ・家庭介護者教室等は、介護者を集めて情報交換をする場として月に1回程度実施しているが、新しい参加者が増えて行かないため、周知や実施場所(勤労福祉会館のみ)を検討していきたい。

- ・意識調査の際には、年代で回答率に差が出ないように、ウェブ調査を取り入れるなど工夫が必要。

- ・DV防止に向けた研修、講習会の実施について、啓発や発見につながる研修を実施してほしい。被害者の増加、低年齢化、多様化が進んでいる。児童虐待とDVは関連性が高いため、児童虐待の講座にDVの内容を入れてもらうとよい。ファミサポの研修などに入れてはどうか。民生委員や教員の研修にDVやLGBTを入れられると良い。周りが気づいてあげられる社会を目指す。

- ・ウェブでの日本語教室を開催してもらえると良い。

- ・プレスクールを経て授業を受けても、学習内容まで理解できるまでになるのは難しい。子どもが日本語優位になると、親が母国語優位のため、親子のコミュニケーションに問題が出るケースもある。

- ・相撲教室に南米の子が参加しているが、親が必ずついてくるため親に話をするが、子が間に入って通訳してくれ、近所でも話ができるようになった。

- ・防災講座の対象講座は何か。→確認します。

- ・常会の自主防災会には会長、班長10人くらい、班員20、30人いるが、集まりには下の班長などでは女性も何名か参加している。

- ・女性消防職員1人でなく3人程度に増えると良い。

- ・目標数値について現在クリアできている数値については上げるのか。→第4次への切り替えのタイミングで再検討します。

- ・女性管理職の割合について、製造業において女性管理職が生まれていない。役職が付くことにより、仲良しグループから孤立する等の事情があり、管理職になりたがらない実情がある。

- ・男性の育休取得について、社内ではこれまでに1名のみ。技術職の上位行程を担当しているため、男性に育休を取ってもらえない事情がある。

- ・基本目標1については、目標達成していてすばらしい。市民向け講習のテーマや演者が良いので予算を確保して継続してほしい。

- ・基本目標2については、目標達成している項目がほとんどだが、審議会委員に占める女性の割合が低い。30%となるよう依頼してほしい。多様な視点や経験を市政に反映させてほしい。また、

女性管理職割合を増加させることは必須である。

・基本目標3については、家庭介護者教室等の参加者数が伸び悩んでいる。2025年問題も見据え多くの人参加が重要となる。伸び悩んでいる原因の解明と、成功事例に視察に行き、改善をお願いしたい。

・基本目標4について、DV防止に向けた研修・講習会の開催回数が未実施になっているが、年々DV被害者は増加し低年齢、男性被害者、性的マイノリティの被害者も可視化されている。参加者が低いのはDVだけに特化したためか。児童虐待とDVは関連が高いため、学校教員や放課後児童クラブ職員、病院での研修を検討するのはどうか。

・基本目標5について、乳がん検診等の受診率が低い原因は何か。また、どのような対策を行っているか。→確認します。

外国人を対象とした日本語教室の参加者数の減少原因は何か。

→コロナ禍等が原因であると推測します。

市主催講座があることは高く評価するが、参加しにくい形態なのか。コロナもおさまり蒲都市在住の外国人が増加する可能性があるため、講座参加から地域で共生できるようなサイクルを作ることが期待される。

・基本目標6については、男女共同参画に関する市職員の研修が、LGBTとDVということが気になる。多様な人材を育成する管理職研修に女性活躍、男性の育休取得、介護なども入れてほしい。カードゲーム形式で参加者の年齢や性別など個人の属性や職階、家庭状況によって仕事へ取組みや働き方が異なることが明らかになるゲームがある。このほかにも様々なテーマでの研修を検討してほしい。

3 その他

・本会議は基本的に年に1回の開催であるため、次回は令和6年度に同様の会議を開催する。